

編集グループSURE

2024年秋・冬

図書目録

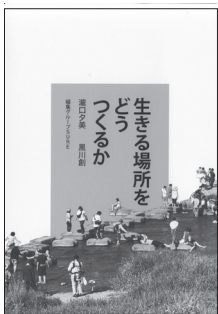


瀧口夕美・黒川創

『生きる場所をどうつくるか』

四六判並製、192頁、2640円(税込)

21世紀も中盤の日本社会。個人は助け合いの輪から切り離され、孤立して、人を頼れず、信用もできず、安心できない。災害が起こっても、おそらく政府は人びとのためににもしない、そのこともわかっている。国家の管理体制に疑問を持ち、人との助け合いの世界の再構築への関心が高まっているのでは？生き方をめぐる、世代を越えた対話の記録。「国家への不信感が底抜けとなった今、システムの欺瞞に抗するためにはどんな生き方があるのか。著者らの仲間だった鶴見俊輔や、法哲学者の那須耕介。あるいは京都の喫茶店ほんやら洞。彼らの思索や実践を再検討しつつ、その問いを、手触りの確かさを起点にして考える。」



〔週刊金曜日〕
2024年7月5日号、本のページ、長瀬海氏の書評より)

- シリーズ
- 鶴見俊輔
- さんの
- 仕事
- 残せる証言！

鶴見さんと共に

行動していた人だけが

哲学者・鶴見俊輔さん(1922-2015)の膨大な領域の仕事は、著作などの形で残っていますが、自身の行動を通して状況と向きあうのも、鶴見さんの「思想」のありかたでした。それぞれの局面で行動を共にした人たちの証言を記録・検証し、未来にわたる課題としても引き継いでいく、シリーズ〈鶴見俊輔さんの仕事〉です。

*全5巻、四六判変型並製各巻112〜144頁。

各巻、定価1650円(税込)

- 第一巻 「ハンセン病に向きあつて」
木村聖哉・湯浅進・黒川創
- 第二巻 「兵士の人権を守る活動」
高橋幸子・三室勇・那須耕介・黒川創
- 第三巻 「編集とはどういう行為か？」
松田哲夫・室謙二・黒川創
- 第四巻 「雑誌『朝鮮人』と、その周辺」
姜在彦・小野誠之・関谷滋・黒川創
- 第五巻 「なぜ非暴力直接行動に踏みだしたか」
小泉英政・川上賢一・黒川創

セミナー
シリーズ
鶴見俊輔
と囲んで

企画・立案 鶴見俊輔
ブックレット版
寺子屋シリーズ第一弾！

SUREでは、日ごろ敬意と親しみを抱いている方がたをゲストにお招きして、ときおり少人数での勉強会を開いてまいりました。企画・立案の哲学者・鶴見俊輔さんがホスト役をつとめて、ゲストを囲む「寺子屋風勉強会」第一弾です。

*全5巻。A5判並製・各巻およそ80頁。
各770円(税込)

- 第一巻 井波律子(中国文学者)
『論語』を、いま読む
- 第二巻 作田啓一(社会学者)
「欲動を考える」
- 第三巻 那須耕介(法哲学者)
「ある女性の生き方
——茅辺かのうをめぐって」
- 第四巻 山田稔(作家)
「何も起らない小説」
- 第五巻 加藤典洋(文芸評論家)
「創作は進歩するのか」

探求
シリーズ
鶴見俊輔
と考える

企画・立案 鶴見俊輔
ブックレット版
寺子屋シリーズ第二弾！

独自の分野で思索と研究を重ねてこられたゲストたち。こちらからも素朴な疑問をぶつかけたりしているうちに、いつも、時刻は午後から夜更けへ。座談の名手、ホスト役・鶴見さんの含蓄とユーモア豊かなつつこみも伺えわたります。

*全5巻。A5判並製・各巻およそ120頁。
各1320円(税込)

- 第一巻 山田慶児(科学史家)
「中国の医療を通して見えてきたもの
——天文学から「夜鳴く鳥」へ」
- 第二巻 柳瀬睦男(物理学者・カトリック司祭)
「科学と信仰のあいだで」
- 第三巻 中村桂子(丁T生命誌研究館館長)
「わたしの中の38億年——生命誌の視野から」
- 第四巻 谷川道雄(中国史家)
「歴史の中を人間はどう生きてきたか
——私たちの場所から中国中世を見る」
- 第五巻 海老坂武(フランス文学者)
「この時代のひとり歩き」

シリーズ
この人に
会いた
かった

ブックレット版
寺子屋シリーズ
第三弾!

ぜひお会いしたいと思っていたゲストたちに、じっくりとお話をうかがうことができました。素朴でぶしつけな質問の連続にも根気よく答えてくださるうちに、話はさらに深くへ……。

*全5巻。A5判並製・各巻およそ120頁。
各1320円(税込)

第一巻 森毅(数学者)・鶴見俊輔(哲学者)

「人生に退屈しない知恵」

第二巻 室謙二(ジャーナリスト)

「『国』って何だろうか？」

第三巻 高橋悠治(ピアニスト・作曲家)

「ピアノは、ここにいらな

い祖父と父とぼくの時代」

第四巻 那須耕介(法哲学者)

「バリンという名の思想家がいた

ー『ひとりの人』を通して『世の中』へ」

第五巻 中川裕(言語学者)

「アイヌ語のむこうに広がる世界」

シリーズ
どうやって
生きたか
を

ブックレット版
寺子屋シリーズ
第四弾!

ゲストは、現代女性作家のトップランナーとして走りつづけた富岡多恵子さん、「ひろしま」などの独創に満ちた写真作品で世界的な評価が高まる写真家の石内都さんら。それぞれの世代の人生から引き出される知恵と世界観が、ここに詰まっています。

*全5巻。A5判並製・各巻120頁。
各1426円(税込)

第一巻 富岡多恵子(作家)

「私が書いてきたこと」

第二巻 那須耕介(法哲学者)

「多様性に立つ憲法へ」

第三巻 石内都(写真家)

「女・写真家として」

第四巻 高山英男(子ども調査研究所・元所長)

「現代史の中の子ども」

第五巻 稲宮康人(写真家)

「『大東亜共栄圏』の輪郭をめぐる旅

ー海外神社を撮る」

SUREの本
《五十音順》

アイヌ語のむこうに広がる世界 中川裕

〈この人に会いたかった〉第5巻。アイヌ語を母語として育った世代の人は、もう、ほとんどいない。けれど、先人の知恵を引きつぐ研究と、ことばの復興の動きは、広がりを増している。『ゴールデンカムイ』監修者。A5判並製・120頁。定価1320円(税込)

アジアが生みだす世界像

竹内好の残したものを

鶴見俊輔 編

竹内が残した問いから、未来にむけて、どんな知恵を引き出せるか? 二一世紀の新しい世界像を模索する、シンポジウムの記録。企画・立案、鶴見俊輔。中島岳志、大澤真幸ら。四六判並製・192頁。定価1870円(税込)

あたらしい人生「新装版」絵・文 北沢信子

「泣いてばかりいる生活なんでもうイヤ」。引越した荷物やリヤカーに積んで、主人公のあたらしい人生がはじまります。ゆつくりと時が流れる最初の夜。シリーズ(わるい子の絵本)①。B6判上製・48頁・カラー。発売・新宿書房 定価1320円(税込)

あのころ、ぼくは革命を信じていた

敗戦と高度成長のあいだ 大牧富士夫
敗戦時17歳の通信兵。あのころ、ぼくをつき動かした予感、なんだったのか? 若者としてのまなざしと、社会がたどった歴史が交差する。解説・米田綱路。四六判変型並製・144頁。定価1650円(税込)

ある女性の生き方

茅辺かのうをめぐる

那須耕介

〈鶴見俊輔と囲んで〉第3巻。一九六〇年代、街育ちの三〇代の女性が、身寄りもない北海道の果てへと立った。彼女が選びなおした「生き方」と、その目にうつる当時の北海道。A5判並製・80頁。定価770円(税込)

安心貧乏生活

瀧口夕美

ほどほど低収入の私が、いまの暮らしに不安を覚えず生きていくには、どんな心構えでいるのがいいのか？ みずから安心を築いた、人の先輩たちに聞く。「お金をとらわれずに生きるって、どういうことですか？」
四六判並製・128頁。定価1980円(税込)

生きる場所をどうつくるか

瀧口夕美・黒川創

自分たちで、もつと気楽に助けあい、質素でも生き甲斐のある場所、「なりわい」としても長続きする場を模索したい。先人たちにも話をきき、知恵を交換しあつた記録。四六判並製・192頁。定価2640円(税込)

今よりマシな日本社会をどう作れるか

塩沢由典

——経済学者の視野から
そこそこにピンポード、平凡な暮らしをしてその人間に、もつと役に立つ経済学はないのか？ 塩沢さんに素朴な疑問をぶつけた、現代経済学入門の書！ 四六判並製・160頁。定価2090円(税込)

「つつ」のわたしの子育て

北沢街子

子どもと二人きりになるのが、怖くなる時もあった。朝、保育園に連れていかなければと思うのに、どうしても体を起こせない……。友人たちに助けられながら歩んだ子育ての記録。四六版変型並製・96頁。定価1540円(税込)

海老坂武のかんたんフランス料理 海老坂武

——シングルライフ84歳のおもてなし

八四歳のいまでも、ときどき自宅にお友だちを招いて、フランス料理でもてなしする海老坂さんに、レシピから、ふだんの暮らしぶり、今後の目標までうかがいました。A5判変型並製・176頁。定価2860円(税込)

大石誠之助の生涯 紀州の医師と大逆事件

ジョセフ・クローニン著 中尾ハジメ訳

近代日本最大の冤罪事件「大逆事件」で処刑された大石。日本在住のアイランド人研究者が、国際的な視野から資料を渉猟し、異能のヒューマニストの生涯を明らかに。四六判並製・320頁。定価3300円(税込)

女・写真家として

石内都

〈いま、どうやって生きていますか？〉第3巻。育った街ヨコスカ。母の遺品。広島で原爆にうたれた少女たちの服——石内都さんの写真作品の流れからは、一人の女性表現者としての個人史も見えてきます。A5判並製・120頁。定価1426円(税込)

海路としてのへ尖閣諸島へ

山田慶児

——航海技術史上の洋上風景
領土問題として語られがちな「尖閣」。しかし中国・明代のころ、この島々は誰のものでなく、海を行く人々の命と勇気を等しく支える洋上のシンボルだった。四六判並製・160頁。定価2530円(税込)

科学と信仰のあいだで

柳瀬睦男

〈鶴見俊輔と考える〉第2巻。納得を得る瞬間そのものが、ひとつの神秘でもある。物理学徒として迎えた原爆投下と敗戦。「原爆の父」オッペンハイマーとの出会い。カトリック信仰と物理学をつらぬく哲学。A5判並製・120頁。定価1320円(税込)

小沢信男さん、あなたはどつやつつ食べてきましたか

小沢信男・津野海太郎・黒川創
多面的な作家生活を送ってきた小沢さん、八四歳(当時)。異なる世代で、同じく書き、読み、編集する活動を続ける二人が聞く、日本の文学運動、芸術運動の歩み。四六判並製・152頁。定価1980円(税込)

お産の話

余川典子

——上野博正と新宿「めだか診療所」
1977年、北新宿に開かれた「産婦人科・精神科」の病院。女性本位のお産とはなにか。リブの時代、そこに集った人々とのあいだにうまれた貴重な精神史の叙述。四六判並製・208頁。定価2640円(税込)

おばけ灯台 文・奈浦なほ、絵・きむらみほ

ほいくえんるとき、仲よしだったミドリちゃん。このごろ、彼女はいじわるだ。学校でボクをいじめ。悪口いって、つきまとう。ある日、ボクは街をでた……。シリーズ「へわるい子の絵本」②。B6判上製・48頁・カラー。発売・新宿書房。定価1540円(税込)

隠された地図

北沢恒彦

中小企業診断士として、京都の街を歩き尽くした著者の遺稿集。街の商店主とルソーについて語り合った著者が、手放さなかつた思索の方法。丸山眞男論など。那須耕介「解説」、黒川創「年譜」。装帧・平野甲賀。四六判上製・304頁、発売・クレイン。定価2750円(税込)

技術からみた人類の歴史

山田慶兒

人類の活動の基本要素のひとつである「技術」。その歴史を跡づけ、一人ひとりが生きる場所での「土法」(その土地に根ざしたやり方)を掘り起こし、未来に向けての課題と取り組む。四六判並製・192頁。

定価2420円(税込)

北沢恒彦とは何者だったか？

編集グループSURE 編(聞き手・黒川創)

語られる者の歴史と、証言者たちの人生の時間が交差する、新しいオーラル・ヒストリー。SUREの創始者・北沢恒彦(1934-99)、京都の一隅に生きた65年間。四六判上製・336頁。

定価3300円(税込)

樹のなかの音——瀧口政満彫刻作品集

「無数の刃あとの一つひとつが、微細な陰影をつくりだし、それ全体が、やわらかな光のなかに立っている」(序文)。阿寒湖畔を拠点に彫り続けた瀧口政満の代表作を収録。編／序文 黒川創。A4判変型並製48頁。協力・クレイン。定価1980円(税込)

京都学ことはじめ

——森浩 12のお勉強

森浩 一

考古学者・森浩一が、12人の専門家と、京都の歴史について、新しく「お勉強」。この街について理解を深める格好の一冊。各講に宿題編。四六判並製・232頁。発売・新宿書房。定価2200円(税込)

「国」って何だろうか？

室謙 二

「オバマのアメリカ合衆国、私の生まれた日本(この人に会いたかった)第2巻。カウンタールチャー1世代で、国籍も「米国人」となったジャーナリストの室さんに聞く、オバマのアメリカの光と影。A5判並製・120頁。

定価1320円(税込)

経済に「国」はいらない

塩沢由典

——ジェイン・ジェイコブズを読む

ジェイコブズは、高速道路と近代建築からなる都市像よりも、人間関係に支えられる下町のな環境に価値を置く。疲弊した日本経済の再生の方向を示す。塩沢さんの連続講義。四六判並製・288頁。定価2970円(税込)

原子力の腹の中で

中尾ハジメ

福島第一原発事故のあとを、私たちはどう生きるか——事故直後の新聞記事やデータ、専門家らの言動を参照し話しあった、事故発生の日二ヵ月後の座談会の記録。素人の立場から、原子力や放射能汚染について考えるきっかけに。四六判並製・240頁。定価2420円(税込)

現代史の中の子ども

高山英男

「はい、どうやって生きていますか？」第4巻。教科書出版社に就職し、「教育」について抱いた疑問。子ども調査研究所を設立し、追い続けた子どもの実像とは。未来にわたる歴史の主人公たちをめぐらる話。A5判並製・120頁。

定価1426円(税込)

この時代のひとり歩き

海老坂武

〈鶴見俊輔と考える〉第5巻。海老坂さんの自伝を手がかりとして、1960〜80年代が生き生きと再現されます。恋愛観で盛りあがり、「鶴見さん、どうして結婚したんですか？」などの質問も。A5判並製・120頁。

定価1320円(税込)

子どもと染めて作る はじめてのクラフト

吉谷美世子

たまには、ゲームやスマホから目をはなして、子どもも大人も素材にふれて、暮らしを彩るものをつくらう。手軽で安価な材料で、織物、編み物、フェルト、染め物入門編。A5判並製・128頁。定価2860円(税込)

子どもと学ぶアイヌ語

瀧口タ美

大人から子どもまで、アイヌ語を遊びながら楽しく学べる、子どもの目線にたつて言葉にふれる入門書。「ことば」を知っていくことは、その背景にある文化を理解していく手がかりとなるのでは？ 監修・中川裕。A5判並製・128頁。定価2640円(税込)

コーランを読んでみよう

山田慶児・編集グループSURE

イスラム教の聖典「コーラン」をみんなで読んでみよう！「異なる文化」の理解は簡単なことではないけれど、最初の一歩にはなりそう。四六判並製・288頁。

定価2750円（税込）

酒はなめるように飲め／酒はいかに飲まれたか

北沢恒彦・山田稔

偶然手にした本に見つけた、学生時代の共通の恩師の名前。山田稔の書き下ろしと、北沢恒彦の遺稿による、コラボレーションの新たな広がり。2冊1組。文庫判並製・48／56頁。

定価1650円（税込）

ざしきぼつこと俺（おんず）

——東北の村・まち・世界

阿伊染徳美

生まれ育った土地が織りなす信仰の世界。東北の民俗、歴史の重なりから、原子力時代のまやかしをにらみ返す。著者を育んだ「かくし念仏」の世界は、いまでも続く。四六判並製・192頁。

定価2750円（税込）

雑誌「朝鮮人」と、その周辺

姜在彦・小野誠之・関谷滋・黒川創

シリーズ鶴見俊輔さんの仕事④ 1960年代末から90年代の初め、京都で刊行された小さな雑誌「朝鮮人」。誌上で重ねた丁寧な座談・議論は、現在の社会をも貫く。四六判変型並製・144頁。

定価1650円（税込）

こんな本をつくってきた

——図書出版クレインと私

文弘樹

企画、制作、営業活動まで、「ひとり出版社」の編集者としての仕事や、創業に至るまでの話。今の時代を生きるマイノリティーとしての経験が、出版活動をどう支えたか。四六判並製・224頁。

定価2750円（税込）

志願兵の肖像

四方田犬彦

映画に見る皇民化運動期の朝鮮と戦後日本植民地時代の朝鮮人青年たちは、「志願兵」制度の下に置かれた。映画を通じ「皇民化」が内発的行動へと至る道筋。戦後の日本映画は、彼らの面影をどうとどめたかも詳しく講義。四六判並製・176頁。

定価2640円（税込）

「思想の科学」私史

鶴見俊輔

1946年に著者が中心となり創刊した雑誌「思想の科学」50年間の通史。多くの書き手を見出し、戦争に抗する多元主義の広場となった、雑誌づくりの現場。24篇の遺稿と、インタビュー。巻末に黒川創による証言を収録。四六判並製・192頁。

定価2530円（税込）

自前のメディアをもとめて

田村紀雄

足尾鉍毒問題をめぐる地域史研究、自立した小さなメディアに着目してのコミュニケーション論、海外移民の再定住に至るプロセス。……田村さんの膨大な仕事をたどる、自伝的連続講義の記録。四六判並製・224頁。

定価2070円（税込）

社会と自分のあいだの難関

那須耕介

デモクラシーって、疲れませんか？「表現の自由」「移行期正義」「遵法責務」など、日々のくらしに潜む問題をわかりやすく講義。わかったようでもわかってなかった「民主主義」を、自分の側からつかみなおす。四六判並製・288頁。

定価3080円（税込）

自由について——七つの問答

丸山眞男

丸山眞男氏を囲んでの七つの問答。聞き手は鶴見俊輔、北沢恒彦、塩沢由典ら。20年間の封印を解いて初公開。この時代だからこそ新しい、亡き代表的思想家による思索と探究。解説：鶴見俊輔、塩沢由典。四六判並製・272頁。

定価2640円（税込）

人生に屈しない知恵

森毅・鶴見俊輔

〈この人に会いたかった〉第1巻。記憶と学識の貯蔵庫を開いて、数知れぬ「肖像」を描きつぐ二大名人の対話。いわく「年を取るのも芸のうち」。森毅さん、生前最後の著書。A5判並製・120頁。

定価1320円（税込）

創作は進歩するののか

加藤典洋

〈鶴見俊輔と囲んで〉第5巻。歴史が流れるように、創作は進歩するののか？ ギリシア神話よりドストエフスキーは進化したと言えるののか？ 鶴見との出会いを通して、加藤氏の批評は、大きく転換した。その出発点を振り返る。A5判並製・80頁。定価770円(税込)

大震災に始まる風景

——東北の10年を撮り続けて、思うこと 稲宮康人

著者は、2011年3月11日の東日本大震災から10年、岩手・宮城・福島の被災地に通い、いまも、その風景を撮影し続ける。百数十点の写真と、さらなる旅をめぐる対話。A5版並製・224頁。定価2860円(税込)

「大東亜共栄圏」の輪郭をめぐる旅

——海外神社を撮る 稲宮康人

〈いま、どうやって生きていますか？〉第5巻。戦時期の日本国家がアジア・南洋の諸地域に建設した神社の跡地を訪ね歩き、大型カメラで撮影。写真が「歴史」をとらえる。A5判並製・120頁。定価1426円(税込)

多田道太郎

山田稔・黒川創編

——文学と風俗研究のあいだ
京大人文研に若くして採用され、桑原武夫率いる共同研究に参加。フランス文学者にして現代の風俗に卓抜な解明の眼を向けた。「ものぐさ」学者をめぐる座談の記録。四六判並製・176頁。定価2420円(税込)

脱走の話——ベトナム戦争といま

吉岡忍・鶴見俊輔

ベトナム戦争からの脱走米兵を援助した経験を考え、語り合った記録。いま、私たちは軍隊から脱走できるか？ これからの日本でも、彼らをかかまえるか？ 四六判変型並製・120頁。定価1100円(税込)

たまたま、この世界に生まれて

——半世紀後の『アメリカ哲学』講義 鶴見俊輔

太平洋戦争直前の米國留学で、初めて接したプラグマティズム。著者の根をなす哲学講義と、50歳年少の市民たちの寺子屋的問答。21世紀に、新たな生命を得る思想。四六判並製・288頁。定価2530円(税込)

多様性に立つ憲法へ

那須耕介

〈いま、どうやって生きていますか？〉第2巻。文明史から見て「憲法」とは何か。より良い社会をめざす仕組みとして「憲法」が機能するには、どういう視野と努力が必要か？ これからの憲法のありかた。A5判並製・120頁。定価1426円(税込)

ダンテは世界をどう描いたかダンテ・アリギエリ
——新訳「神曲地獄篇」と、その解説 山田慶児

ダンテが、時代の先端をゆく科学観・自然観を通して描いた地獄の光景。現代と重なる、乱世の叙事詩の新訳。なぜダンテはこの文芸作品を残したか、その謎に迫る。四六判並製・384頁。定価3520円(税込)

ちいさな理想

鶴見俊輔

時代の峠に立って、過去と未来を眺める。先の見えない暗がりにもかかって進む、この時代の行方。それでも、ぼつん、ぼつんともてる希望の火種はある。著者70歳から80歳代にわたる、ほかでは読めない85本の論考。四六判並製・248頁。定価2640円(税込)

中国の医学を通して見えてきたもの

——天文学から「夜鳴く鳥」へ 山田慶児

〈鶴見俊輔と考える〉第1巻。中国医学の伝授のありかたに、宇宙観の広がり縦横無尽に跡づけていく。山田慶児氏。独創に満ちたその学风が、どうやって生まれたか。A5判並製・124頁。定価1320円(税込)

鶴見俊輔全詩集

鶴見俊輔

80歳での初の詩集『もうろくの春』に、その後の詩作品、未収録の詩なども加えて、自作詩、訳詩、およそ50篇におよぶ生涯の詩作を網羅。B6判変型上製糸かがり・136頁。クロス装、箔押し、著者検印、筒状ケース入り。定価3740円(税込)

ディランと出会い、歌いはじめる 中川五郎

ポップ・ディランにノーベル文学賞！ この機会に、デビュー50周年を迎えて、なお活発にライブツアーを続ける中川五郎さんに、お自身のこと、ディランのこと、「フォークリポートわいせつ裁判」のことまで、とことん聞いてみよう！ 四六判並製・160頁。定価2200円(税込)

手づくり雑誌の創造術

高橋幸子

企画立案、取材、編集、印刷、製本、宣伝、経理、発送……。雑誌作りの全行程をわが手でこなす。でも、自分が好きなことばっかり！雑誌づくりのノウハウをすべて公開。無手勝流、「はなかみ通信」18年間の軌跡。A5判変型並製・128頁。定価2420円（税込）

悼詞（とうし）

鶴見俊輔

逝く人、125人の知人・友人たちに贈った全追悼文集。60年あまりにわたる文筆活動のなかで重ねてきた、多くの人たちとの出会いと別れ。ときに率直な批判も含み、心をこめて、人柄・仕事・そのおもかげを刻む。四六判並製・416頁。定価3630円（税込）

手放せない記憶

鶴見俊輔・小田実

私が考える場所

過去・現在・未来へと……。終わらない戦争。それでも、自分自身が考える場所を手放さなければ、「国家」に縛りつけられずに生きる軌跡は、なお続いていく。四六判変型並製・112頁。定価1320円（税込）

内陸のくじら

カリフォルニア・インディアンの伝説からの9つの再話

シオドーラ・クロバー著 中尾ハジメ訳

インディアンの英雄伝を、女性の視点から捉えなおした物語集。そこに生きる若く美しい、あるいは邪悪な人たちの情感をとおして、物語の世界へ。四六判並製・256頁。定価2970円（税込）

電気じかけの俺たち

中尾ハジメ

原子力の腹の中で2

核惨事の過小評価が、広島、スリーマイル島、チェルノブイリで行われてきた。エネルギー政策への服従を断ちきり、自立して生きるためには、いま何が必要か？ 四六判並製・192頁。定価2420円（税込）

流れに抗して

鶴見俊輔

具体的な行動のともなう思想を、自分のなかに、どう保ち続けるか？ 著者が体現してきたプラグマティズムの思想は、現代を生きる私たちに、役立つものとなりそうです。老いて、おもねらない、著者の態度の表明。四六判上製・112頁。定価2090円（税込）

なぜ「原子力の時代」に終止符を打てないか

中尾ハジメ・加藤典洋

原子力事故をくり返して、なおそこから目覚められない、バラ色の「原子力の夢」とは？ 文芸評論家・加藤典洋氏が、原発問題を追いつける中尾ハジメ氏に聞く。四六判並製・192頁。定価1833円（税込）

2020年の原発問題

中尾ハジメ

東日本大震災から7年、その間に明らかになった問題と、「核燃料サイクル」の問題、廃炉の問題……。事故後の歳月を通して見えてきた、これからの問題をどうとらえるか。考える手がかりをどうつかむか。四六版並製・168頁。定価2640円（税込）

なぜ非暴力直接行動に踏みだしたか

小泉英政・川上賢一・黒川創

シリーズ鶴見俊輔さんの仕事⑤「自分を一個の粗大ゴミとして路上に置く」座り込み。若い仲間たちとともに踏みだした、根本的な抗議のかたちとは？ シリーズ完結篇。四六判変型並製・128頁。定価1650円（税込）

日本の小説を読む

山田稔

かつて京都にこんな読書会があった！ 日本の長篇小説だけを読み、月に一度歯に衣着せぬ論評を交わす。著者が記録した「討論」の厳選16篇と、37年間の「盛衰史」書き下ろし。新刊「多田道太郎」の参考文献にも！ 四六判並製・224頁。定価2420円（税込）

何も起らない小説

山田稔

〈鶴見俊輔と囲んで〉第4巻。「京都的」で冷たい印象があるとも評される文章に潜む、熱のよくなるもの。するすると読者から身をかわして、山田稔の文学が、じよよに追いつめられ、山田さんもいつもは言わないことまで言ってしまう。A5判並製・78頁。定価770円（税込）

日本の地下水 ちいさなメディアから

鶴見俊輔

SNSがなかった1960年代、全国で刊行されていた同人雑誌。それは社会変遷の底流にある、もう一つの現代史だった。雑誌「思想の科学」で21年にわたり連載した批評、初集。著者生誕100年記念出版。四六判並製・352頁。定価2860円（税込）

敗北力 Later Works 増補版

鶴見俊輔

著者が計画していた最後の自著、好評だった旧版に最晩年の思索の到達点というべき5本の論考を増補。敗北力を構成する「認識」と「気構え」とは？ 人生を通して考え、最後に向かおうとしたものは？ 解説・加藤典洋。四六判上製・320頁。定価3300円(税込)

ピアノは、ここにいらぬ

高橋悠治

——祖父と父とぼくの時代
 〈この人に会いたかった〉第3巻。名ピアニスト、悠治さんに聞いておこう！ 音楽批評家の父、高橋均氏のこと。朝鮮語で『耶穌伝』の著書もある、祖父、高橋鷹蔵氏のこと……。A5判並製・116頁。定価1320円(税込)

バーリンという名の思想史家がい

——ひとりの人を通して「世の中」へ 那須耕介

〈この人に会いたかった〉第4巻。ラトヴィアのリガで生まれ、ロシア革命のなかをイギリスに逃れて、『自由論』を著したアイザイア・バーリンの生涯。そこから世界を考える。A5判並製・120頁。定価1320円(税込)

福島の美術館で何が起こっていたのか

——震災、原発事故、ベン・シャーンのこと 黒川創編

住民の暮らしが災害の中にあるとき、美術館が果たす役割とは？ 大地震にゆれた美術館、個人として経験した震災と放射能禍。福島県立美術館学芸員有志との討議の記録。四六判並製・200頁。定価2530円(税込)

ハンセン病に向きあって

木村聖哉・湯浅進・黒川創

シリーズ鶴見俊輔さんの仕事① 多くを語らないまま、生涯にわたり関わりつづけた、思索と行動。戦後まもない20代に始まる、ハンセン病の患者、元患者たちとの交流。四六判変型並製・112頁。定価1650円(税込)

フサエさんのおいしい田舎料理

——岐阜・旧徳山村で作ってきたもの 大牧フサエ

家族のための毎日つくってきた、徳山村ご当地料理などのレシピ集。仕事にも余暇の使い方にも熱心だった若いころ。ダムに沈んだ村で、かつて営んだ暮らしなどの証言も。A5判変型並製・160頁。定価2547円(税込)

ブックデザインの構想

平野甲賀・黒川創

——チエコのイラストレーションから、チラシ描き文字まで
 チャベック兄弟の世界に生まれ、大正時代の日本の「漫画」にも影響をもたらしたチエコのイラスト。そこからのブックデザインのの方法とは？ 書物の楽しさをデザインする。四六判並製・128頁。定価1540円(税込)

ぼくの家には、むささびが棲んでいた

——徳山村の記録 大牧富士夫

1987年、「徳山ダム」建設のため、その歴史を閉じた、岐阜県揖斐川上流の徳山村。村での暮らしを、記録と追憶から掘り起して綴る。解説・鶴見太郎。四六判変型並製・152頁。定価1650円(税込)

兵士の人権を守る活動

高橋幸子・三室勇・那須耕介・黒川創

シリーズ鶴見俊輔さんの仕事② 自衛隊員の海外派遣が始まる1992年、京都で開始された自衛官ホットラインの活動。鶴見さんの動機には、自身の従軍経験があった。四六判変型並製・128頁。定価1650円(税込)

ぼくの戦争

——満洲国と同じ年だった少年の回想 山田慶児

戦争に導こうとするとき、国家は嘘をつく。若い世代が、それを見破るには、何が必要か。戦争に向かう社会で、国家の嘘を少年・少女が見破るためのコツとヒント。四六判並製・160頁。定価2640円(税込)

編集とはどういう行為か？

松田哲夫・室謙二・黒川創

シリーズ鶴見俊輔さんの仕事③ 鶴見さんの仕事の本流、編集の仕事に焦点をあてる。雑誌「思想の科学」や、数々の選集づくり。小沢信男、津野海太郎らも加わり討議。四六判変型並製・128頁。定価1650円(税込)

ぼくは村の先生だった

——村が徳山ダムに沈むまで 大牧富士夫

結婚し、小学校の先生として村へ戻ったぼくを待っていたのは、変わりつつある村の姿だった。村の歴史を人生に重ねて綴る、徳山村シリーズ完結編。解説・黒川創。四六判変型並製・150頁。定価1650円(税込)

本はどのように変わっていったのか

津野海太郎

21世紀に入って根底から変わった、本を巡る環境。文明的な本のありかたから、個人と本のつき合ひまで。取次、書店員など「本」で暮らしをたてた人びととともに語り合う。四六判並製・160頁。定価2640円(税込)

民族衣装を着なかつたアイヌ 瀧口夕美

北の女たちから伝えられたこと

「純粹なアイヌはもういないんだよね？」著者はたびたびこの質問をうけ、悩んできた。家族や親戚に話を聞き、「私たちの歴史」を考え直す。好評のロングセラー！ 四六判並製・224頁。定価2750円(税込)

もうろく帖

鶴見俊輔

鶴見さんの備忘録「もうろく帖」の第1冊目を、美装の手帳型の一冊に。自身の新たな発想。他者と自己の着想が、交差して生まれる独創の泉。老いから何を発見できるか？ 文庫判半上製・192頁。口絵頁(著者自筆)カラー刷り。定価2200円(税込)

「もうろく帖」後篇

鶴見俊輔

全部で23冊に及んだ鶴見さんの備忘録「もうろく帖」。2冊目以降のすべてのノートから、その大半を掲載。老いについて、死について。晩年の鶴見さんが記しつづけた、日々の思索、その冒険の記録。文庫判半上製糸かがり。288頁。箔押し。定価2970円(税込)

もじを描く

平野甲賀

本屋さんでよく見かける、ユニークな「描き文字」の装幀家によるエッセイ集。40年以上のキャリアから、自由闊達な平野甲賀の世界が、豊富な話題とともに展開されていきます。著者自装。四六判並製・62頁。定価1320円(税込)

山田慶児詩集 鯨釣り

山田慶児

90歳、碩学の科学史家が、残照のなかに遊ぶ、詩作のとき。亡き愛妻への追憶、独り居の思索、そこら湧き上がるユーモア。山田さんのひさしぶりの詩集は、自在な天地を生みだします。テーブルの上の大海。四六判変型、簡易上製・80頁。定価2750円(税込)

欲動を考える

作田啓一

〈鶴見俊輔と囲んで〉第2巻。「倒錯」によって増幅し、混乱していく「想像力」。現代を「倒錯」と「欲動」をキーワードに掘り下げる。作田啓一氏の人間行動分析、入門篇。その業績の再発見への手がかりとしても。A5判並製・80頁。定価770円(税込)

秋原勝二

夜の話

―百歳の作家、満洲日本語文学を書きついで八十余年にわたる創作、主要9作品。7歳で渡った満洲と日本本土の間でゆれる、望郷の念、土地への愛着、戦後の日本。巻末に著者インタビュー。解説・黒川創。四六判上製・320頁。定価2660円(税込)

歴史の中を人間はどう生きてきたか

―鶴見俊輔と考える― 第4巻。現代と中国中世

のつながりから見える私たちの未来は？ 〈歴史の主体としての民衆の姿〉から、歴史の先端に立つ私たちのありかたを省察する。A5判並製・116頁。定価1320円(税込)

「論語」を、いま読む

井波律子

〈鶴見俊輔と囲んで〉第1巻。大キライだった漢文の授業。でも『論語』は詩なんです」と語る井波律子氏を導き手に、「説教くさくない『論語』を、自分たちで読んでみよう。読んで楽しい、井波さんの仕事の原点も垣間見えます。A5判並製・76頁。定価770円(税込)

私が書いてきたこと

富岡多惠子

〈いま、どうやって生きていますか？〉第1巻。大阪の豊かな町人文化に親しみながら成長した少女時代。「女の子」に世間から求められることと、自力で生きることのあいだで、戦後もずっと続いてきた格闘。著者の最後の著書。A5判並製・120頁。定価1426円(税込)

わたしが市会議員になったら

井崎敦子

そもそも「市会議員」って、どんな役割があるの？ 地域の暮らしやすさは大事だけど、議会をそれを変えられる？ 私たちのしよウトにこそ、実現できることは？ 四六判変型並製・128頁。定価2200円(税込)

わたしの中の38億年

中村桂子

— 生命誌の視野から

〈鶴見俊輔と考える〉第3巻。ゲノムから考えれば、この「わたし」は、地球上に生命がうまれた38億年前から生きているとも言えそう。そこから「生命」の意味を考える。A5判並製・120頁。定価1320円（税込）

わたしはどんな学問をしてきたか

山田慶兒

少年時代に過ごした神話的な時間。科学史家・藪内清の下での厳しい修業時代。天文学、西洋史、中国科学史など、諸分野を縦断した、独創的な学風は、どこから生まれたか？ 四六判並製・128頁。定価2310円（税込）

＊ SURE の本 ご購入方法

郵便払込にて本の代金をお払い込みください。ご入金があり次第、郵送にてお届けします。郵便局備付の郵便払込用紙に、住所、氏名、電話番号、本のタイトル、冊数をご記入の上、[00910-1-93863 編集グループSURE]宛に、代金の合計+送料 300 円をお払い込みください。ご入金が確認できるまで数日を要しますので、おいそぎの際はSUREまでお電話ください。ホームページからは、PayPalによるお払込も可能になりました。どうぞご利用ください。

＊送料について

送料は、一回のご注文につき、書籍、雑貨、何点でも 300 円です（日本国内、同一の宛先に）。SURE発売の本は、直接販売のみです。



SURE 編集グループSURE

〒602-0822 京都市上京区河原町通今出川上る青龍町 221 番地 3
tel./fax. 075-202-9522 (住所と電話番号が変わりました)

HP <https://www.groupsure.net> e-mail info@groupsure.net